

令和7年9月24日
札幌開発建設部

木コンクリート橋・木直川橋が土木学会選奨土木遺産に認定！

滝野すずらん丘陵公園内にある木コンクリート橋・木直川橋が、令和7年9月24日に土木学会より令和7年度土木学会選奨土木遺産に認定されました。

11月18日に札幌ガーデンパレスで開催される「土木学会選奨土木遺産認定書授賞式」で認定書が授与されます。

○ 認定概要

名 称：木コンクリート橋・木直川橋

(もくこんくりーときょう・きなおしがわばし)

所 在 地：北海道札幌市南区滝野247番地（滝野すずらん丘陵公園内）

竣 工 年：1963年（昭和38年）9月 国道278号南茅部町（現：函館市木直町）に建設

移 設 年：1987年（昭和62年）10月移設。元橋の木主桁の一部を用いて復元。

認定理由：木直川橋は、木橋とRC橋の中間技術として北海道で開発普及した木コンクリート合成桁橋技術を代表する橋で、戦後の道路開発を支えた土木遺産です。

※土木学会選奨土木遺産の認定制度は、土木遺産の顕彰を通じて、歴史的土木構造物の保存に資することを目的として平成12年度に創設されました。公益社団法人土木学会では、土木学会選奨土木遺産委員会を設け、社会へのアピール、土木技術者へのアピール、まちづくりへの活用など促すことを目的に近代土木遺産（原則として、竣工後50年を経過したもの）を対象として、土木学会選奨土木遺産の認定を行っております。

（土木学会選奨土木遺産ウェブサイトhttps://committees.jsce.or.jp/doboku_isan/）

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部

国営滝野すずらん丘陵公園事務所 電話（代表）011-594-2100

所 長 清水 賢宏

工務課長 本間 強

札幌開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/>



- 木コンクリート橋とは、戦中の昭和14年から戦後の昭和40年代までの間に北海道で開発され、道内をはじめ本州各地に普及した木主桁とコンクリート床版による合成桁形式の橋梁です。戦時下における鋼材不足を補うために開発された工法で、木橋と鋼橋・コンクリート橋の中間技術として、戦中戦後の北海道における道路整備を支えた土木施設です。
- 木直川橋は昭和38年に南茅部町（現：函館市木直町）の国道278号に建設された木コンクリート橋で、昭和62年の架け替え時に滝野すずらん丘陵公園内に移設し、木主桁の一部を用いて復元したものです。
- 園内にある木コンクリート橋・木直川橋は、現在橋を渡ることや桁下を見ることはできませんが、白帆の滝までの園路から橋の全景や木主桁を見ることができます。

【木コンクリート橋・木直川橋 全景】



【木コンクリート橋・木直川橋 桁下】



木コンクリート橋・木直川橋の場所と行き方について

- お車をご利用の方は溪流口駐車場に駐車し、下記地図の赤ラインのルートで徒歩でお越しください。
- バスをご利用の方は溪流口バス停で下車し、下記地図の赤ラインのルートで徒歩でお越しください。
- 溪流口駐車場・バス停から木コンクリート橋・木直川橋までは約600mです。
- 木コンクリート橋・木直川橋は溪流ゾーン内ですので入園無料です。お車をご利用の方は駐車料金が500円必要となります。

木コンクリート橋・木直川橋

※この看板から曲がってください

